



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北久宝寺町4丁目プロジェクト【A棟】新築工事		
建設地	中央区北久宝寺町4丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	672.59	m ²	
建築面積	370.99	m ²	
延床面積	4,721.34	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上15階
完了年(予定)	2023年1月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B-
BEE=0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外の	98%
④上記+	98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.4
光・視環境	2.7
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.6
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	3.4
効率的運用	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化への配慮	3.0
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合	省エネルギー基準適合を目指し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮した。	特になし。
Q1 室内環境	居室床面積の1/10以上の開閉可能な窓を確保し、利用者の健康・快適性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に緑地を複数箇所設け、敷地内温熱環境の向上にも配慮する。
LR1 エネルギー	low-E窓や適切な断熱材の採用、及びLED照明の採用により省エネルギー基準適合を図る。	LR3 敷地外環境 二段ラック等を設置し、適切な数の自転車駐輪場を確保する。 広告照明を行わない。
Q2 サービス性能	カテゴリ5EのLAN配線を居室内まで設け、高度情報通信に対応可能とする。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分別可能な工法を採用する。	

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.0 ライフサイクルCO2排出率 98%
配慮事項	省エネルギー基準適合により、ライフサイクルCO2排出量の抑制を図る。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 外構緑化指数40%以上
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内に適切な緑地を確保する。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 「5-1断熱等性能等級」における等級4相当
配慮事項	Low-E窓、適切な断熱材を採用	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.4
配慮事項	LED照明、節水器具の採用	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.96	0.96	-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート (太陽光発電設備用)

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ (44) m <input type="checkbox"/> 地上部 (<input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
ウ 日照の確保 (冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 日照条件に適合する場所の検討	
ア 設置可能面積等	(133.9) m ² 方位 (真南) 設置角度 (30) 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	(53.5) m ²
ウ 設置可能容量	(8.0) kw
エ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
オ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例：設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 太陽光パネル面積	() m ²
イ 発電容量	() kW
備考	
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。	

